



平成29年度 水道・下水道事業会計の決算

いつでも安全に、安心して利用できる、災害に強い上下水道を目指して

決算は9月10日から開会の定例市議会にて審議されています。

問い合わせ 上下水道部総務課 (市庁舎水道棟2階、☎65・4212)

水道事業会計の決算

おいしい水道水を作り 確実に届ける

収益的収支における収入は45億1091万円(前年度比0・9%増)、支出は37億8899万円(同

0・9%増)で、家庭などからの水道料金収入が増加した一方で、維持管理費が減少したことなどに

より、収益的収支は7億2192万円(同0・7%増)の純利益となり

ました。この純利益は今後の借入金返済や施設の更新などに

使用する予定です。

水道施設や水道管を整備する

資本的収支における収入は13億3688万円(同2・1%増)、

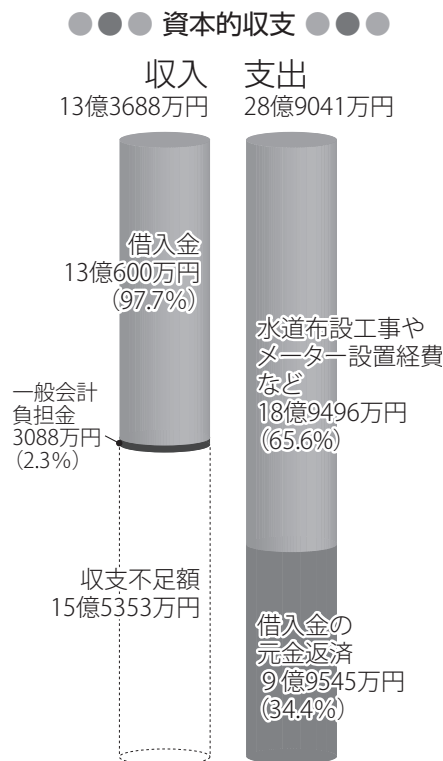
支出は28億9041万円(同13・3%減)で、収入の不足は収益的

収支の減価償却費※などで補填しました。

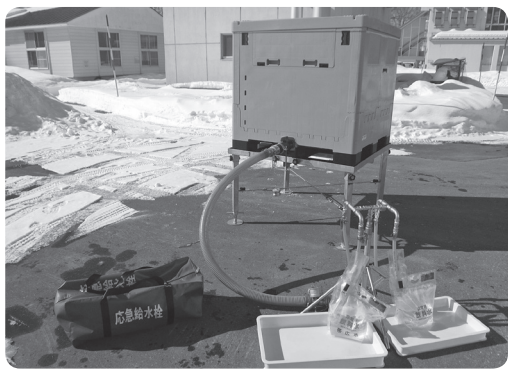
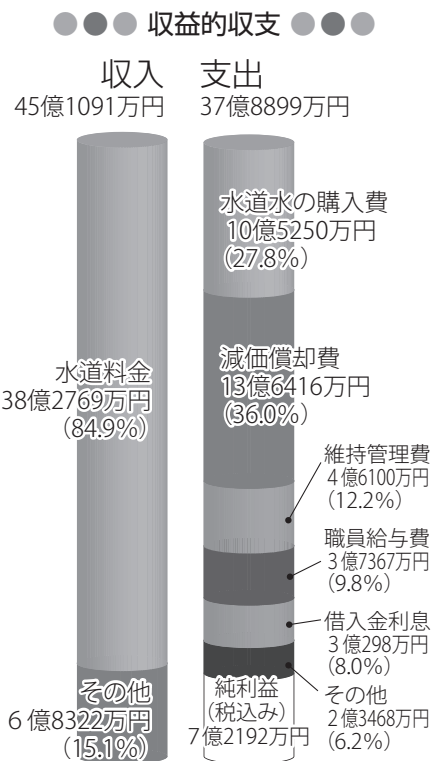


水のおいしさをPR おびひろ極上水 検索

水道施設の建設や水道管を整備、更新するための収入と支出



水道水を作り、届けるための収入と支出



応急給水コンテナ(災害対策備蓄資器材)

水道事業の主な取り組み

▼新たな水道管の整備や老朽化した水道管の更新▼稲田浄水場の設備機器の更新(平成27〜29年度)・電気計装の更新(平成29〜30年度)▼災害などに備えた備蓄資器材の充実や配水ブロック仕切弁操作の電動化―など

下水道事業会計の決算

汚れた水を集めてきれいにする

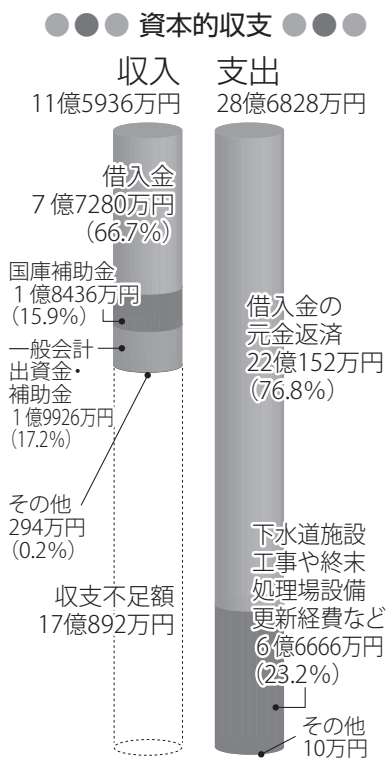
収益的収支における収入は50億6537万円(前年度比1・7%増)、支出は44億5319万円(同0・2%減)で、一般会計からの負担金・補助金が増加したことなどにより、収益的収支は6億1218万円(同18・0%増)の純利益となりました。この純利益は今後の借入金の返済や施設の更新などに使用する予定です。

終末処理場や下水道管を整備する

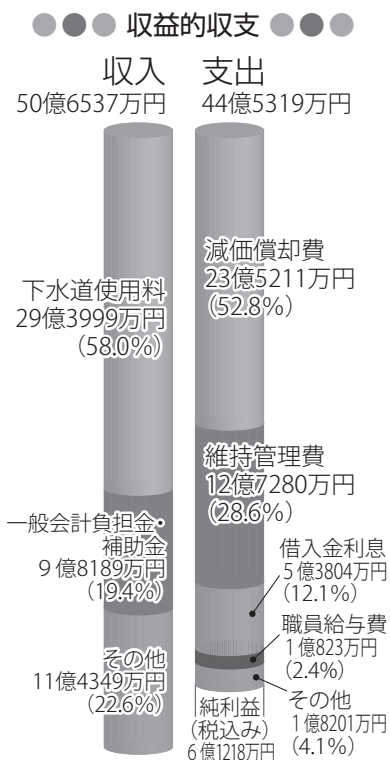
資本的収支における収入は11億5936万円(同9・5%減)、

支出は28億6828万円(同5・1%減)で、収入の不足は収益的収支の減価償却費などで補填しました。

終末処理場の建設や下水道管を整備、更新するための収入と支出



汚れた水を集めてきれいにするための収入と支出

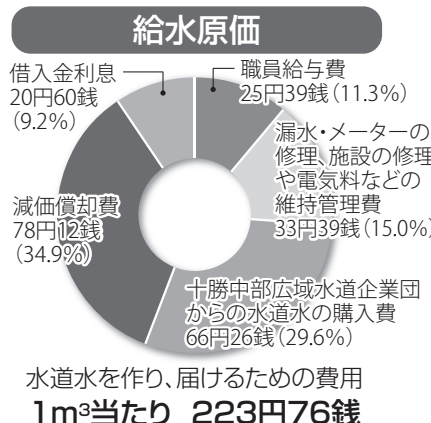
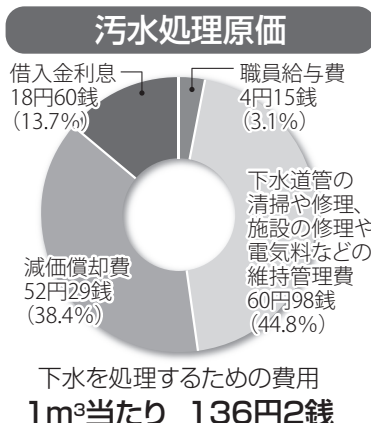


雨水管の整備

下水道事業の主な取り組み

▼新たな下水道管の整備や老朽化した下水道管の更新▼帯広川下水終末処理場設備の更新▼災害などに備えた備蓄資器材の充実▼浸水被害があった地域を優先した雨水管整備―など

水道・下水道1m³当たりの費用の内訳



下水道事業の周知、観光PRなどのために市民アンケートをもとに作成され、平成30年10月以降、帯広駅周辺などに設置予定

これからの帯広市の水道・下水道 平成29年度の決算は、水道、下水道事業ともに純利益を計上するなど、健全な状況を維持できました。しかし、今後は人口が減少し、使用量の減少が見込まれる一方、多くの老朽化した施設などの更新が必要となります。健全な企業経営の下、生活に必要な上下水道サービスを提供し続けるため、中長期的な視点に立ち、計画的な施設などの更新や、災害に強い施設づくりなどを行ってまいります。

※減価償却費とは 施設が古くなり価値が減った分を費用として換算したもので、収支に反映されます。この費用は現金の支出を伴わず、新しい施設を作るときの財源に位置付けられています。